

「話してみよう韓国語」第8回新潟大会 出場者募集のご案内

「話してみよう韓国語」は全国主要都市で開催されている
新しいかたちのスピーチコンテストです。

高校生スキット部門・**一般スキット部門**・**創作スキット部門**があります。

参加資格をご確認のうえ、それぞれの募集要項をご覧ください。

◇日時：2017年2月12日（日）午後1時(予定)～

◇会場：新潟県立大学（1313 講義室）

[主催] 「話してみよう韓国語」新潟大会実行委員会、駐日韓国大使館 韓国文化院

[共催] 駐日韓国文化院 世宗学堂

[後援] 新潟市（申請中）、駐新潟大韓民国総領事館、慶熙大学校(韓国)、新潟県立大学

[特別協賛] アシアナ航空

参加資格

- ・韓国語を母語としない中学生以上の方。国籍は問いません。
- ・韓国語を使って日常的に意思疎通を行っていない方（本大会は外国語として韓国語を学ぶ学習者のための大会です）。
- ・応募時点から過去1年以内に他の韓国語スピーチコンテスト本選において、入賞歴（高校生スキット部門）、最上位の受賞歴（一般スキット・創作スキット部門）がない方。
- ・過去の本大会で最優秀賞を受賞された方は、高校生スキット部門での受賞者は一般・創作の各スキット部門、一般スキット部門での受賞者は創作スキット部門にご応募できます。
- ・過去の本大会で創作スキット部門の最優秀賞を受賞された方はご応募できません。

↓ 以下の部門別の参加資格も併せてお読みください。

高校生スキット部門

- ・大会までの学習時間が100時間程度の初級学習者の方。
- ・高校で韓国語を履修している場合は応募時の履修単位が4単位以下の方。
- ・韓国あるいは韓国語常用地域での滞在歴が通算1ヶ月以内の方。

一般スキット部門

- ・韓国語学習歴が2年以内で、大会までの学習時間が100時間程度の初級学習者の方（韓国語能力試験初級、ハングル能力検定試験5～4級程度が目安）。
- ・大学生の場合は、日本国内の大学に在籍している方。
- ・韓国あるいは韓国語常用地域での滞在歴が通算1ヶ月以内の方。

創作スキット部門

- ・韓国あるいは韓国語常用地域での滞在歴が通算1年以内の方。

募集要項

◆高校生スキット部門

指定台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。制限時間は3分。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加したりすることはできます。台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

☞指定台本は新潟大会ホームページよりダウンロードできます。

※この部門で最優秀賞を受賞した組は、2017年3月11日(土)に東京で開かれる「クムホ・アジアナ杯高校生大会」に出場することができます。ただし新潟大会出場者が5組に満たなかった場合は別途、クムホ・アジアナ杯の録音物審査を受けていただくことになります。

◆一般スキット部門 ～初級レベルの方が対象です～

指定台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。制限時間は3分。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加したりすることはできます。最後の自由創作部分は2人の対話が5往復以内、全部で10行(400字程度)以内となるように作成してください。台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

☞指定台本は新潟大会ホームページよりダウンロードできます。

◆創作スキット部門 ～中級程度のレベルの方が対象です～

指定された場面設定での2人以上の登場人物のいるスキット(必ず、会話をしている内容であること。ナレーションなど、会話になっていないものは不可)を創作して暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。2分30秒～3分の間で発表が終わるようにしてください。台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。事前に小道具の内容をお知らせください。BGMを流すこともできます。

☞台本制作は「一般スキット部門」の台本を参考にしてください。

※今年度の指定場面は「デパート」です。想像力を駆使し、登場人物2名以上で自由に設定してください。1人2役も可能です。

◇全部門共通の注意事項

- ・自由創作部分には差別的な内容、反社会的な内容が含まれないよう十分注意してください。
- ・発表時に主催者側が用意する舞台設備は、ホワイトボード1枚、長机2台、椅子2脚、CDプレーヤーのみです。
- ・発表時におけるCDプレーヤーの操作は、演技者のどちらか1人のみ行うことができます。
- ・衛生管理上、舞台への飲食物の持ち込みは一切禁じております。

応募方法

下記①と②を封筒に入れ、応募先に郵送もしくは持参してください。メールによる応募は受け付けておりません。なお、提出された書類等は返却いたしませんのでご了承ください。また、一度提出された原稿は差し替え、変更等を行うことができませんので十分注意してください。

① 参加申込書（1名につき1枚）。

学校単位での申込みの場合、電子データは一つにまとめても構いません。事前にご相談ください。なお、申し込み後に参加者を交替することはできません。

㊦ 申込書は新潟大会ホームページよりダウンロードできます。

② <高校生スキット部門>

・指定台本に自由創作部分と、追加・変更を加えた場合にはその部分を明記した原稿、および日本語訳。

<一般スキット部門>

・指定台本に自由創作部分と、追加・変更を加えた場合にはその部分を入力した原稿、および日本語訳の電子データ（CD等）とハードコピー。

<創作スキット部門>

・自作スキットの原稿および日本語訳の電子データ（CD等）とハードコピー。

◎台本には必ず、題名を付けてください。

◎台本は編集ができるよう、必ずワード文書（A4、10.5ポイント）で作成してください。罫線・表・装飾文字等は使用しないでください。

応募先： 〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬 471 新潟県立大学
「話してみよう韓国語」新潟大会実行委員会事務局
応募受付期間：2016年12月1日(木)～2017年1月19日(木) 必着

審査

提出していただいた原稿をもとに1次審査を行い、各部門7組前後を選抜する予定です。審査結果は通過の可否にかかわらず1月末日までに代表者にご連絡いたします。

なお、応募部門の参加資格を超える語学力を持っていると判断された場合は審査対象外となることがあります。

◇本選における審査基準

<高校生スキット部門>

✓発音（50）—正確さ・イントネーション・聴き取りやすさ ✓総合表現力（40）—話す速度・強弱・身振りや手振り・感情表現など（アドリブも含む） ✓暗唱（10）

<一般スキット部門>

✓発音（40）—正確さ・イントネーション・聴き取りやすさ ✓総合表現力（40）—話す速度・強弱・身振りや手振り・感情表現など（アドリブも含む） ✓暗唱（10） ✓質疑応答（10）

<創作スキット部門>

✓発音・表現（40）—正確さ、イントネーション、聴き取りやすさ、話す速度、強弱、感情表現など ✓内容・構成（40）—内容、語彙、誤用の有無、起承転結など ✓暗唱（10） ✓質疑応答（10）

※質疑応答について

一般スキット部門と創作スキット部門に限り、各発表後に審査員が韓国語で短い質問を行い、それに対して韓国語で答えていただきます。

※制限時間について

各部門に指定された制限時間を超過した場合は15秒を超えるごとに1点の減点となります。「創作スキット部門」は時間不足も同様に減点となります。

※発音、イントネーション等の基準について

本大会ではソウルを標準とする韓国語を基準に審査を行います。

表彰

◎最優秀賞（各部門1組ずつ）

<高校生スキット部門>（応募が5組以上の場合）

賞状、クムホ・アジアナ杯高校生大会への出場権（東京までの往復交通費と1泊付）

<一般スキット部門>

賞状、旅行券など

<創作スキット部門>

賞状、旅行券、韓国短期語学研修など

○優秀賞（各部門1組ずつ）賞状、賞品

○奨励賞（各部門1組ずつ）賞状、賞品

○審査員特別賞（入賞を逃した組の中から、特に審査員の印象に残った1組を表彰します）

・このほか、本選出場者全員に参加賞を贈呈します。

※賞品は変更になる場合がありますので予めご了承ください。

◆会場へのアクセス

<http://www.unii.ac.jp/campus/index.html>

◆お問い合わせ

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬 471 新潟県立大学

「話してみよう韓国語」新潟大会実行委員会事務局

TEL : 025-270-7384 Mail : yamada@unii.ac.jp

ホームページ <http://hatano.world.coocan.jp/niigata-taikai/index.htm>

